

【資料1】福島市一般廃棄物処理基本計画(素案)への委員意見について

No.	意見	見解(案)
1	図表には全国平均、福島県平均、政府目標などを併記した方がよい。また、排出量については「一人当たりの数値」と「市全体の数値」を併記した方がよい。	実績値の平均(国・県)や、国・県のうち公表されている目標値等を併記し、比較しやすい表記といたします。
2	【計画内容について】福島市のごみ排出量やリサイクル率がよろしくない現状を、もっと全面(前面)に打ち出した表記にした方がよい。	【計画策定の主旨】にて、他市と比較することで本市のごみ排出量やリサイクル率の現状について追記するよう検討いたします。
3	家庭ごみ、事業所ごみでそれぞれ削減目標を数値で示しているが、何をいくら減らすのか不明瞭なため具体的に想定すべきです。また、それらを減らすために、プラスチックごみの排出抑制でいくら?食品ロス発生抑制、ごみ処理有料化の導入でいくら減らせると想定しているのかを示すべきです。	各要素ごとの削減目標について、具体的な数値目標として示せるよう検討してまいります。
4	「3R」の中でリユースの登場は基本施策で1回だけである。他のキーワードに比べて弱い印象であり、もっと活用すべき。	リユースの重要性を踏まえ、本基本計画内で頻出するよう検討いたします。
5	事業系ごみから紙ごみを分別し、焼却ごみ量を減らすために、紙ごみ混入の事業所ごみは受け入れないと説明があった。それは極めて重要な施策である。記載するべきである。	基本方針2 基本施策2-②「事業系ごみの減量化・資源化の推進」で扱うことを検討いたします。
6	ごみの減量をPRするのは大事です。同時に、現状を知らせて理解させることも大事です。市民も事業者も、ごみ減量は必要と感じている一方で、自分たちのごみ量を知らないアンケート結果が示しています。このアンケートの結果や「知らせる、量る(量った結果を知らせる(個人ではなく枠組みで示す))」といったことを、基本施策のどこかに入れ込んでほしいです。	基本施策1-①の行政の役割(情報提供)に含んでいると考えておりますが、その意図が伝わるよう文言の修正を検討します。また、具体的取り組みについては基本計画に紐づく形で毎年策定する実施計画にて検討してまいります。
7	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理基本計画の基本施策1-①と②の一本化。 ごみ処理基本計画の基本施策2-①と②の一本化。 	<p>基本施策1-①は、三者の役割・責務を明確にし、適正なごみ処理の枠組みを整備する【協働の体制づくり】に重きを置いています。一方、基本施策1-②では【市民の適正なごみ排出】に視点をあてた実践的、伴走支援的な取組みを想定していることから、別々の基本施策としています。なお、違いが伝わるように記載については検討してまいります。</p> <p>また基本施策2について、生活行動や意識の変化が重要な【家庭系ごみ】と、組織的・計画的な取組が求められる【事業系ごみ】では、ごみの発生要因や削減に向けた取組の進め方が異なるため、それぞれ効果的な施策を推進するため、基本施策を分けたいと考えています。</p>
8	ゴミの分別化、資源化の推進のためにも市民への周知徹底が必要である。そのためにも市政だより、町内の回覧等も含め紙媒体以外にマスメディアを有効に活用すべきと思われる。	情報提供の内容やタイミングなどについて検討し、マスメディアを有効に活用し市民周知に努めてまいります。あわせて、幅広い世代に分かりやすく情報が届くよう、発信内容や方法の工夫にも取り組んでまいります。
9	ごみ集積所における不法投棄は大部分が町内会委員以外のものが多く、行政の対応が望まれる。	排出者が特定可能である場合、開封調査による直接指導を行い改善を求めて参ります。一方、特定が困難である場合は、町内会の皆さまと市が協力して分別作業等を行い改善を図る取り組みを各地区で進めております。